

生産者から消費者へ

おいしさ届く、笑顔つながる



10月25日(日)、おぢや農林まつり実行委員会は、「2015おぢや農林まつり」を、JA小千谷車輛農機センター前広場と、JA片貝車輛農機センター前広場の2会場で開きました。

農林まつりは、生産者と消費者が共に収穫を喜び、地産地の農産物を味わう地産地消の場として毎年開いています。また食と農業の大切さを伝える活動の1年間の総仕上げの位置付けでもあります。今年も両会場あわせて約5000人が来場し、多彩なイベントを楽しみました。

市民らと一緒に収穫の秋を祝おうと、会場には、おぢや産の「魚沼産コシヒカリ」や生産者が直売する地産野菜などが並び、購入客でにぎわいました。JA青年部とJA女性部が協力し、餅をついて振る舞ったほか、女性部が手作りのさつまいもケーキや五目おこめなどを販売し、人気を集めました。

城川支店も支店協同活動の一環で、新鮮な野菜をふんだんに使った豚汁や新米おにぎりの販売コーナーを出店し、組合員や地域住民と交流を深めました。

ステージでは、超耕21カッターミニショーやアルビレックスチアリーダーダンスのパフォーマンス、地元よさこいグループの踊りなどを披露。子どもたちも、じゃんけん大会などを楽しみました。

小千谷会場では、第49回JA錦鯉品評会も開きました。ニシキゴイ生産者が丹精込めて育てた選りすぐりの逸品が集まり、来場者を魅了しました。(審査結果等、詳細は6ページ)



①	②
	③
④	⑤
	⑥
⑧	⑨
	⑩

/写真説明/

①支店協同活動の一環で、販売コーナーを出店する城川支店 ②よさこい踊りで祭りを盛り上げる真人遊舞会とJAよさこいグループ「凜」の皆さん ③じゃんけん大会を楽しむ子どもら ④優雅に泳ぐニシキゴイを観賞 ⑤多彩なステージイベントを楽しむ来場者 ⑥超耕21ガッターミニショー ⑦アルビレックスチアリーダーズの華麗なパフォーマンス ⑧手作り菓子などを販売するJA女性部 ⑨JA職員有志のロックバンド「おぢや元気」が4曲を披露 ⑩小千谷観光協会イメージキャラクターのよし太くとふれあう子ども